

優秀賞

順番のバトン

真鶴町立まなづる小学校四年 岩崎虹湖

前に電車に乗った時の事です。電車の席があいていませんでした。

すると、一人の女性が席をゆずってくれました。その時私は心の中で「次は自分がゆずる番だな。」と思いました。

二週間くらいして、電車の席にすわっていると、席はまん席になっていました。すると、お年よりのおばあさんと、六才くらいの女の子が乗ってきました。おばあさんは、

「どこかあいていないかなあ。」

とあいている席をさがしはじめました。私はふと、二週間前の事を思い出しました。「次は自分がゆずる番だ。」と思い、小さい女の子とおばあさんに席をゆずりました。

すると、おばあさんは、

「ありがとうございます。助かったよ。」

と言いました。その時、こまっている人を助ける事はこんなにいいことなんだなと思いました。これからもこまっている人に、声をかけていきたいと思いました。